

平成28年度

シラバス

5 年 次
歯科医療の展開



日本大学松戸歯学部

平成28年度 歯科医療の展開シラバス

一般目標 (GIO)

臨床実習を効果的に行うために、臨床科目に関する基礎学力向上と診療参加型臨床実習に対する解決能力を養い、併せて各診療科における診療の流れと使用する器材・薬剤に関する基礎的知識を修得する。

到達目標 (SBOs)

- ① 各診療科における診療の流れと使用する器材・薬剤について説明できる。
- ② 先端歯科医学（口腔インプラント学、再生歯科治療学、顎口腔機能治療学）における治療内容と手技について説明できる。
- ③ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能について説明できる。
- ④ 歯科疾患に関する病因、病態および主要症候について説明できる。
- ⑤ 歯科疾患の確定診断に必要な診察、検査について説明できる。
- ⑥ 歯科疾患の治療法について説明できる。
- ⑦ 主訴・症状・徴候から正しい処置方針を立案できる。
- ⑧ 保健医療に関する法律について説明できる。

講義および試験実施要項

I. 講義実施要項

期 間：平成27年4月2日～9月30日

時 間：午前8時40分～9時30分（試験時間は日程表に記載する）

会 場：401教室

講 義：以下のテーマより8つのユニットから構成される。

ユニット1：診断情報収集と診療の流れ	オーガナイザー：多田 充裕
ユニット2：先端歯科医学	オーガナイザー：村上 洋
ユニット3：成長・発育	オーガナイザー：梅澤 幸司
ユニット4：加齢と歯の欠損	オーガナイザー：飯島 守雄
ユニット5：齲蝕と硬組織欠損	オーガナイザー：岩井 啓寿
ユニット6：炎 症	オーガナイザー：高井 英樹
ユニット7：嚢胞・腫瘍	オーガナイザー：濱野 美緒
ユニット8：保健医療総論と健康管理	オーガナイザー：有川 量崇

講義内容：

- ユニット1：臨床実習開始に当たり患者情報の収集と各種検査法、各診療科における診療の流れおよび使用する器材・薬剤について講義する。
- ユニット2：先端歯科医学として口腔インプラント学、再生歯科治療学、顎口腔機能治療学における治療の内容と手技について講義を行う。
- ユニット3～7：各ユニットはテーマに基づいて①正常構造と機能→②病因、病態→③診察、検査法→④治療法を学び、さらに臨床における主訴・症状・徴候から適切な診断と処置方針の立案について講義を行う。

ユニット8：国家試験出題基準における歯科医学総論、(I) 保健医療総論と (II) 健康管理・増進と予防についての講義を行う。

II. 平常試験実施要項

- ① 各ユニット終了後に平常試験①～⑦を実施する。更に全ユニット終了後に平常試験⑧を実施する。なお、平常試験の追試験は行わない。
- ② 試験時間は、平常試験①～⑦は8：40～9：40（60分）、平常試験⑧は8：40～10：40（120分）とする。401教室で行う。
- ③ 試験問題は、以下のようにする。
 - ・平常試験①～⑦は筆記試験とする。ただし、保健医療総論と健康管理に関する MCQ 問題 10問を含む。
 - ・平常試験⑧は、ユニット2～8の講義内容に関して、歯科医師国家試験過去問題の改変問題（MCQ形式、計100問）とする。
 - ・平常試験⑨は、基礎系科目学力の維持・向上を目的に実施する。問題は MCQ 形式とし、合計250問を3日間に分けて実施する。

III. 合格基準

平常試験の評価割合を以下のようにする。

平常試験①：診断情報収集と診療の流れ	5%
平常試験②：先端歯科医学	20%
平常試験③：成長・発育	10%
平常試験④：加齢と歯の欠損	10%
平常試験⑤：齲蝕と硬組織欠損	10%
平常試験⑥：炎症	10%
平常試験⑦：嚢胞・腫瘍	10%
平常試験⑧：まとめ試験	15%
平常試験⑨：基礎系レベルアップ	10%

以上により、全正解率が65%以上の者を「歯科医療の展開」の合格者とする。

IV. 再評価試験について

- ① 上記合格基準に満たない者については、再評価試験を実施する。なお、再評価試験の追試験は行わない。
- ② 再評価試験は、ユニット2～8の講義内容に関する筆記試験問題とする。
- ③ 再評価試験の正答率が65%以上の者を「歯科医療の展開」の合格者とする。

V. 再評価試験不合格者は学修支援対象者とし、10月以降に実施される補修講義等を受講しなければならない。

平成28年度5年次「歯科医療の展開」講義日程表

出席確認 8:35 講義時間 8:40～9:30、会場 401教室					
月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	講義責任者
2016/4/2	土	歯科医療の展開ガイダンス		平山 聡司	
2016/4/3	日				
2016/4/4	月	診断情報収集と診療の流れ 1	患者配当と問題志向型診療録 (POMR) 記載の流れ	多田 充裕	歯科総合診療学 内田貴之
2016/4/5	火	診断情報収集と診療の流れ 2	臨床検査の基礎、検査結果の読み方		歯科臨床検査医学 市村真奈
2016/4/6	水	診断情報収集と診療の流れ 3	画像検査にのぞむにあたって		放射線学 金田 隆
2016/4/7	木	診断情報収集と診療の流れ 4	有床義歯治療の流れと使用する器材		有床義歯補綴学 石井智浩
2016/4/8	金	診断情報収集と診療の流れ 5	歯冠補綴治療の流れと使用する器材		クラウンブリッジ学 後藤治彦
2016/4/9	土	診断情報収集と診療の流れ 6	顎関節症ならびに顎顔面領域の神経疾患に対する治療の流れと使用する器材		有床義歯補綴学 大久保昌和
2016/4/10	日				
2016/4/11	月	診断情報収集と診療の流れ 7	修復治療の流れと使用する器材・薬剤	多田 充裕	保存修復学 大塚一聖
2016/4/12	火	診断情報収集と診療の流れ 8	根管治療の流れと使用する器材・薬剤		歯内療法学 岡部 達
2016/4/13	水	診断情報収集と診療の流れ 9	歯周治療の流れ (検査・SPT・歯周外科) と使用する器具		歯周治療学 中山洋平
2016/4/14	木	診断情報収集と診療の流れ 10	全身麻酔について		歯科麻酔学 石橋 肇
2016/4/15	金	診断情報収集と診療の流れ 11	外来手術の流れと使用する器材・薬剤		顎顔面外科学 青木暁宣
2016/4/16	土	診断情報収集と診療の流れ 12	小児の扱い、小児歯科の特色と使用する特殊器具		小児歯科学 清水邦彦
2016/4/17	日				
2016/4/18	月	平常試験⑨-A (45分)		平山 聡司	
2016/4/19	火	診断情報収集と診療の流れ 13	セファロ分析に基づく矯正治療の流れと使用する器材	多田 充裕	歯科矯正学 斉藤勝彦
2016/4/20	水	診断情報収集と診療の流れ 14	障害者をとりまく環境		障害者歯科学 伊藤政之
2016/4/21	木	診断情報収集と診療の流れ 15	医療安全・管理①	小宮 正道	医療安全委員会 山口秀紀
2016/4/22	金	学外研修			
2016/4/23	土	保健医療総論と健康管理 1	歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法	有川 量崇	公衆予防歯科学 有川量崇
2016/4/24	日				
2016/4/25	月	診断情報収集と診療の流れ 16	医療安全・管理②	小宮 正道	医療安全委員会 笹井啓史
2016/4/26	火	平常試験① (80分)		多田 充裕	
2016/4/27	水	先端歯科医学 1	インプラント治療の歴史、材料と生体反応	村上 洋	口腔インプラント学 加藤仁夫
2016/4/28	木	先端歯科医学 2	インプラントの特徴、周囲組織、生理学的特徴		口腔インプラント学 井下田繁子
2016/4/29	金				
2016/4/30	土	先端歯科医学 3	インプラント治療の特徴、基本構造、成功基準	村上 洋	口腔インプラント学 井下田繁子
2016/5/1	日				
2016/5/2	月	保健医療総論と健康管理 2	医療と介護に関する職種の役割	有川 量崇	公衆予防歯科学 有川量崇
2016/5/3	火				
2016/5/4	水				
2016/5/5	木				
2016/5/6	金	先端歯科医学 4	適応症と禁忌症、インプラント治療の流れと使用器具	村上 洋	口腔インプラント学 井下田繁子
2016/5/7	土	先端歯科医学 5	全身的リスクファクターと全身の診察・検査		口腔インプラント学 井下田繁子
2016/5/8	日				
2016/5/9	月	保健医療総論と健康管理 3	予防と健康管理増進 (健康増進と疾病予防・地域保健)	有川 量崇	公衆予防歯科学 田口千恵子
2016/5/10	火	先端歯科医学 6	局所的リスクファクターと局所の診察・検査	村上 洋	口腔インプラント学 村上 洋
2016/5/11	水	先端歯科医学 7	診断と治療計画の立案・インフォームドコンセント		口腔インプラント学 村上 洋
2016/5/12	木	先端歯科医学 8	インプラントに必要な局所解剖		口腔インプラント学 玉木 大之
2016/5/13	金	先端歯科医学 9	インプラント埋入手術		口腔インプラント学 玉木 大之
2016/5/14	土	先端歯科医学 10	インプラント関連手術		口腔インプラント学 玉木 大之
2016/5/15	日				
2016/5/16	月	保健医療総論と健康管理 4	予防と健康管理増進 (母子保健・学校保健)	有川 量崇	公衆予防歯科学 田口千恵子
2016/5/17	火	先端歯科医学 11	術中および術後の偶発症・合併症	村上 洋	口腔インプラント学 玉木 大之
2016/5/18	水	先端歯科医学 12	上部構造の種類と印象採得		口腔インプラント学 村上 洋
2016/5/19	木	先端歯科医学 13	アパットメントの選択と上部構造の装着		口腔インプラント学 村上 洋
2016/5/20	金	先端歯科医学 14	メンテナンス		口腔インプラント学 井下田繁子

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義責任者
2016/5/21	土	先端歯科医学 1 5	メンテナンス中のトラブル		口腔インプラント学	村上 洋
2016/5/22	日					
2016/5/23	月	先端歯科医学 1 6	超高齢社会および医療紛争への対応		口腔インプラント学	加藤仁夫
2016/5/24	火	平常試験②ー 1 (6 0 分)				
2016/5/25	水	先端歯科医学 1 7	スポーツ歯学(概論)	村上 洋	顎口腔機能治療学	鈴木浩司
2016/5/26	木	先端歯科医学 1 8	スポーツマウスガード製作法		顎口腔機能治療学	鈴木浩司
2016/5/27	金	先端歯科医学 1 9	ブラキシズム		顎口腔機能治療学	飯田 崇
2016/5/28	土	先端歯科医学 2 0	睡眠時無呼吸症候群概論①		顎口腔機能治療学	鈴木浩司
2016/5/29	日					
2016/5/30	月	先端歯科医学 2 1	睡眠時無呼吸症候群概論②	村上 洋	顎口腔機能治療学	鈴木浩司
2016/5/31	火	先端歯科医学 2 2	睡眠時無呼吸症候群の歯科的対応		顎口腔機能治療学	吉村万由子
2016/6/1	水	先端歯科医学 2 3	スポーツ歯学アンチ・ドーピング		顎口腔機能治療学	鈴木浩司
2016/6/2	木	先端歯科医学 2 4	デジタルデンティストリー		顎口腔機能治療学	浅野 隆
2016/6/3	金	先端歯科医学 2 5	再生医療の概論		再生歯科治療学	長濱 文雄
2016/6/4	土	先端歯科医学 2 6	難治性根尖性歯周炎		再生歯科治療学	長濱 文雄
2016/6/5	日					
2016/6/6	月	平常試験⑨ー B (1 0 0 分)		平山 聡司		
2016/6/7	火	先端歯科医学 2 7	難治性根尖性歯周炎への対応	村上 洋	再生歯科治療学	牧村 英樹
2016/6/8	水	先端歯科医学 2 8	再生医療における「細胞・足場・成長因子」		再生歯科治療学	植松 千佳子
2016/6/9	木	保健医療総論と健康管理 5	予防と健康管理増進（フッ化物応用）	有川 量崇	公衆予防歯科学	田口千恵子
2016/6/10	金	保健医療総論と健康管理 6	予防と健康管理増進（保健指導・口腔清掃）	有川 量崇	公衆予防歯科学	田口千恵子
2016/6/11	土	先端歯科医学 2 9	自家歯牙移植・意図的再植のサイエンス	村上 洋	再生歯科治療学	牧村 英樹
2016/6/12	日					
2016/6/13	月	先端歯科医学 3 0	歯科領域における再生医療の現状と展望	村上 洋	再生歯科治療学	牧村 英樹・菊地 信之
2016/6/14	火	先端歯科医学 3 1	歯科領域の再生医療の展望②		再生歯科治療学	菊地 信之
2016/6/15	水	先端歯科医学 3 2	歯科領域の再生医療のトピックス		再生歯科治療学	和田 守康
2016/6/16	木	平常試験②ー 2 (6 0 分)				
2016/6/17	金	保健医療総論と健康管理 7	予防と健康管理増進（口臭）	有川 量崇	公衆予防歯科学	田口千恵子
2016/6/18	土	成長・発育 1	小児の歯・歯列の発育と特徴	梅澤 幸司	小児歯科学	伊藤 龍朗
2016/6/19	日					
2016/6/20	月	成長・発育 2	小児の心身発達	梅澤 幸司	小児歯科学	清水 邦彦
2016/6/21	火	成長・発育 3	小児期の治療時に留意すべき疾患		小児歯科学	岡本 京
2016/6/22	水	成長・発育 4	咬合誘導		小児歯科学	荒井 清司
2016/6/23	木	成長・発育 5	成長発育と評価		歯科矯正学	五関 たけみ
2016/6/24	金	成長・発育 6	顎顔面頭蓋の成長発育		歯科矯正学	石井 かおり
2016/6/25	土	成長・発育 7	不正咬合の特徴（上顎前突）		歯科矯正学	清水 真美
2016/6/26	日					
2016/6/27	月	平常試験⑨ー C (1 0 0 分)		平山 聡司		
2016/6/28	火	成長・発育 8	不正咬合の特徴（下顎前突）	梅澤 幸司	歯科矯正学	根岸 慎一
2016/6/29	水	成長・発育 9	摂食・嚥下機能の発達		障害者歯科学	地主 知世
2016/6/30	木	成長・発育 1 0	障害者への対応		障害者歯科学	梅澤 幸司
2016/7/1	金	平常試験③ (6 0 分)		梅澤 幸司		
2016/7/2	土	加齢と歯の欠損 1	総義歯補綴学総論	飯島 守雄	有床義歯	河相安彦
2016/7/3	日					
2016/7/4	月	加齢と歯の欠損 2	総義歯装着後の管理	飯島 守雄	有床義歯	木本統
2016/7/5	火	加齢と歯の欠損 3	局部床義歯学総論		有床義歯	飯島守雄
2016/7/6	水	加齢と歯の欠損 4	局部床義歯装着後の管理		有床義歯	大久保昌和
2016/7/7	木	加齢と歯の欠損 5	咀嚼の生理学・痛みの生理学と咀嚼系の機能障害		顎口腔機能	小見山道
2016/7/8	金	加齢と歯の欠損 6	下顎運動と口腔機能検査		顎口腔機能	浅野隆

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義責任者
2016/7/9	土	加齢と歯の欠損 7	高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション		障害者歯科	三田村佐智代
2016/7/10	日					
2016/7/11	月	保健医療総論と健康管理 8	保健・医療・福祉・介護関係法規	有川 量崇	公衆予防歯科学	有川量崇
2016/7/12	火	加齢と歯の欠損 8	高齢者の歯科治療	飯島 守雄	顎口腔機能	飯田崇
2016/7/13	水	平常試験④ (60分)		飯島 守雄		
2016/7/14	木	齲蝕と硬組織欠損 1	歯の正常機能と構造	岩井 啓寿	保存修復学	岩井啓寿
2016/7/15	金	齲蝕と硬組織欠損 2	唾液・常在微生物叢・バイオフィーム・齲蝕の病因		保存修復学	岡田珠美
2016/7/16	土	齲蝕と硬組織欠損 3	齲蝕の病態と主要症候および検査		保存修復学	岩井啓寿
2016/7/17	日					
2016/7/18	月					
2016/7/19	火	齲蝕と硬組織欠損 4	診療用器具と成形修復材料	岩井 啓寿	保存修復学	岡田珠美
2016/7/20	水	齲蝕と硬組織欠損 5	診療用器具と補綴修復材料		クラウンブリッジ補綴学	小林平
2016/7/21	木	齲蝕と硬組織欠損 6	歯科接着技術と接着材料		クラウンブリッジ補綴学	會田雅啓
2016/7/22	金	齲蝕と硬組織欠損 7	歯の審美障害 1		クラウンブリッジ補綴学	小林平
2016/7/23	土	齲蝕と硬組織欠損 8	歯の審美障害 2		保存修復学	神谷直孝
2016/7/24	日					
2016/7/25	月	齲蝕と硬組織欠損 9	歯の損耗の病因・病態と対処法	岩井 啓寿	保存修復学	神谷直孝
2016/7/26	火					
2016/7/27	水					
2016/7/28	木					
2016/7/29	金					
2016/7/30	土					
2016/7/31	日					
2016/8/1	月					
2016/8/2	火					
2016/8/3	水					
2016/8/4	木					
2016/8/5	金					
2016/8/6	土					
2016/8/7	日					
2016/8/8	月					
2016/8/9	火					
2016/8/10	水					
2016/8/11	木					
2016/8/12	金					
2016/8/13	土					
2016/8/14	日					
2016/8/15	月					
2016/8/16	火					
2016/8/17	水					
2016/8/18	木					
2016/8/19	金					
2016/8/20	土					
2016/8/21	日					
2016/8/22	月	齲蝕と硬組織欠損 10	歯冠補綴装置の脱離 1	岩井 啓寿	クラウンブリッジ補綴学	田中孝明
2016/8/23	火	齲蝕と硬組織欠損 11	歯冠補綴装置の脱離 2		クラウンブリッジ補綴学	後藤治彦
2016/8/24	水	平常試験⑤ (60分)		岩井 啓寿		
2016/8/25	木	保健医療総論と健康管理 9	社会保障制度	有川 量崇	公衆予防歯科学	有川量崇
2016/8/26	金	保健医療総論と健康管理 10	医療保険制度		公衆予防歯科学	有川量崇
2016/8/27	土					
2016/8/28	日					
2016/8/29	月	炎症 1 口腔病理学	炎症の病理学、歯髓組織・歯周組織・顎骨の正常構造	高井 英樹	口腔病理学	宇都宮忠彦
2016/8/30	火	炎症 2 歯内療法学	歯髓炎・根尖性歯周炎の分類・診断		歯内療法学	辻本恭久
2016/8/31	水	炎症 3 歯内療法学	歯髓炎・根尖性歯周炎の治療の基礎		歯内療法学	辻本恭久
2016/9/1	木	炎症 4 歯周治療学	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎		歯周治療学	高井英樹
2016/9/2	金	炎症 5 歯周治療学	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎		歯周治療学	高井英樹
2016/9/3	土	炎症 6 顎顔面外科	嚥の分類・炎症の波及経路		顎顔面外科	青木暁宣
2016/9/4	日					
2016/9/5	月	炎症 7 顎顔面機能再建学	先天異常・奇形について（主に唇顎口蓋裂）	高井 英樹	顎顔面機能再建学	大峰浩隆
2016/9/6	火	炎症 8 顎顔面外科	顎骨の炎症（主に骨髄炎・上顎洞炎）の病期・分類・診断、症状と治療の基礎		顎顔面外科	青木暁宣
2016/9/7	水	平常試験⑥ (60分)		高井 英樹		
2016/9/8	木	嚢胞・腫瘍 1	嚢胞の分類		口腔病理学	宇都宮忠彦

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義責任者
2016/9/9	金	嚢胞・腫瘍 2	顎骨の菌原性嚢胞と非菌原性嚢胞	濱野 美緒	口腔外科	濱野美緒
2016/9/10	土	嚢胞・腫瘍 3	顎変形症の診断と治療		顎顔面外科	伊藤耕
2016/9/11	日					
2016/9/12	月	嚢胞・腫瘍 4	神経疾患の診断と治療	濱野 美緒	頭頸部外科	牧山康秀
2016/9/13	火	嚢胞・腫瘍 5	腫瘍の分類	濱野 美緒	口腔病理学	宇都宮忠彦（末光）
2016/9/14	水	嚢胞・腫瘍 6	良性腫瘍の診断と治療		口腔外科	濱野美緒
2016/9/15	木	嚢胞・腫瘍 7	悪性腫瘍の診断と治療①		顎顔面外科	伊藤耕
2016/9/16	金	嚢胞・腫瘍 8	悪性腫瘍の診断と治療②		顎顔面外科	伊藤耕
2016/9/17	土	自学自習				
2016/9/18	日					
2016/9/19	月					
2016/9/20	火	平常試験⑦（60分）		濱野 美緒		
2016/9/21	水	自学自習				
2016/9/22	木					
2016/9/23	金	自学自習				
2016/9/24	土	自学自習				
2016/9/25	日					
2016/9/26	月	自学自習				
2016/9/27	火	自学自習				
2016/9/28	水	平常試験⑧（120分）		平山 聡司		
2016/9/29	木	自学自習				
2016/9/30	金	歯科医学総合講義 5 ガイダンス		平山 聡司		

講義日 時限
04月02日 1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 歯科医療の展開ガイダンス

授業の一般目標：

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月04日	1時限	必修-1-イ-a

担当者 内田 貴之

テーマ： POSに基づく問題指向型診療録の記載

授業の一般目標： 患者が抱える健康に関する問題を解決するために、POSに基づく問題指向型診療録(POMR)の記載法を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 当院における診療システムについて説明できる。
- 2) POMRの意義について説明できる。
- 3) POMRの構成を説明できる。
- 4) POMRの記載法を説明できる。
- 5) 問題解決過程のステップを説明できる。
- 6) 実際のPOMRを記載できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月05日	1時限	必修-1 1-ウ-b 必修-1 1-ウ-c 総論-IX-3-イ 総論-IX-3-ウ 総論-IX-3-エ

担当者 洲上 真奈

テーマ： 臨床検査の基礎、検査結果の読み方

授業の一般目標： 全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 臨床検査の意義を述べられる。
- 2) 全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。
- 3) 各臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月06日	1時限	必修-1 1-オ-a

担当者 金田 隆

テーマ： 画像検査の基本

授業の一般目標： 歯・顎顔面領域の画像検査を適切に行うために、各種画像検査法の利点、欠点および選択基準を学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 口内法エックス線検査を説明できる。
- 2) パノラマエックス線検査を説明できる。
- 3) CT検査の利点、欠点を説明する。
- 4) MRI検査の利点、欠点を説明する。
- 5) 画像検査の選択基準を説明する。

講義日	時限	国試出題基準
04月07日	1時限	各論-V-5-イ 各論-V-5-エ 各論-V-5-ス 各論-V-6-イ 各論-V-6-エ 各論-V-6-サ

担当者 河相 安彦、石井 智浩

テーマ： 有床義歯補綴学の治療ステップと必要な器材

授業の一般目標： 有床義歯治療時に必要な器材と治療介助ができるようになるために、治療の流れと使用する器材について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 有床義歯製作時の治療ステップを説明できる。
- 2) 有床義歯製作のための印象採得時に必要な器材について説明できる。
- 3) 有床義歯製作のための咬合採得時に必要な器材について説明できる。
- 4) 義歯調整時に必要な器材について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月08日	1時限	各論-V-4-ア 各論-V-4-ウ 各論-V-4-エ 各論-V-4-オ 各論-V-4-カ 各論-V-4-ク 各論-V-4-ス

担当者 後藤 治彦

テーマ： 歯冠補綴治療の流れと使用する器具

授業の一般目標： 歯冠補綴治療時に必要な器材の準備と診療介助ができるようになるために、臨床実習で行う歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 根管形成に使用する器材を説明できる。
- 2) 支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。
- 3) 歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。
- 4) 支台歯形成に必要な器材を説明できる。
- 5) プロビジョナルレストレーション製法と必要な器材を説明できる。
- 6) 精密印象・咬合採得に使用する器材を説明できる。
- 7) 歯冠補綴装置の試適・調整に使用する器材を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月09日	1時限	各論-V-1-カ 総論-VIII-1-ウ

担当者 大久保 昌和

テーマ： 顎関節症ならびに顎顔面領域の神経疾患に対する治療の流れと使用する器材

授業の一般目標： 口腔顔面痛患者の診療プロセスを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 口腔顔面痛の分類を説明できる。
- 2) 非歯原性口腔顔面痛を説明できる。
- 3) 口腔顔面痛患者の診療プロセスを説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月11日	1時限	総論-XI-2-イ 総論-XI-2-ウ 総論-XI-3-ア 総論-XI-8-ア 総論-XI-13-ア 総論-XI-13-イ 総論-XI-13-ウ 総論-XI-13-エ

担当者 大塚 一聖

テーマ： 修復治療の流れと使用する器材、薬剤

授業の一般目標： 保存修復処置に用いる材料や器材を適切に取り扱えるようになるために、材料や器材の名称、使用方法、特徴について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 各種修復材料の名称、使用方法および特徴について説明できる。
- 2) 各種修復材料の使用上の注意点について理解する。
- 3) 切削器具の名称、使用方法および特徴について説明できる。
- 4) 修復処置前準備についての器具、使用方法および特徴について理解する。
- 5) 修復前準備の注意点について理解する。

講義日	時限	国試出題基準
04月12日	1時限	各論-Ⅲ-6-オ 総論-Ⅸ-1-イ 総論-Ⅸ-1-ウ

担当者 岡部 達

テーマ： 根管治療の流れと使用する器材・薬剤

授業の一般目標： 根管治療の技術を習得するために、根管治療の術式および使用する器具・薬剤について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 根管治療の術式について説明できる。
- 2) 根管治療に必要な器具について説明できる。
- 3) 根管治療に必要な薬剤について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月13日	1時限	各論-Ⅲ-8-ウ 各論-Ⅲ-9-イ

担当者 中山 洋平

テーマ： 歯周治療の流れ（検査・SPT・歯周外科）と使用する器具

授業の一般目標： 患者実習を行うために必要な歯周治療を実施するための知識を習得し、総合的に歯周治療の流れを理解する

到達目標SBOs：

- 1) 歯周治療の流れについて理解する
- 2) 歯周基本治療の種類と目的を説明できる
- 3) 歯周病検査の項目とその目的を説明できる
- 4) 歯周基本治療で使用する器具を列挙できる
- 5) 歯周外科治療で使用する器具とその用途を説明できる
- 6) メインテナンスとSPTについて説明できる

講義日	時限	国試出題基準
04月14日	1時限	必修-15-コ-b 総論-X-6-ウ 総論-X-6-エ 総論-X-6-オ 総論-X-6-カ 総論-X-6-キ 総論-X-6-ク

担当者 石橋 肇

テーマ： 全身麻酔について

授業の一般目標： 安全で快適な歯科治療を行うために全身麻酔の概要について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 全身麻酔の術前管理について述べるができる。
- 2) 全身麻酔の導入について説明できる。
- 3) 全身麻酔の維持について説明できる。
- 4) 全身麻酔からの覚醒について説明できる。
- 5) 術後管理について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月15日	1時限	必修-15-ス-a

担当者 青木 暁宣

テーマ： 粘膜切開、剥離、縫合、抜歯等の外来手術の流れと使用機材・薬剤について。手指消毒、術野の消毒について。

授業の一般目標： 口腔外科外来手術時に必要な器材の準備と治療介助ができるようになるために、外来手術の流れと使用する器材・薬剤について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 手指と術野の消毒について説明できる。
- 2) 抜歯に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。
- 3) 粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。
- 4) 縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月16日	1時限	総論-VIII-2-イ

担当者 清水 邦彦

テーマ： 小児歯科の特色と使用器具

授業の一般目標： 小児への対応を適切に行うために、小児歯科の特色と使用する器具について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 年齢ごとの小児への対応を説明できる。
- 2) 小児歯科の器具について説明できる。

=====

講義日	時限
04月18日	1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 平常試験⑨-A

講義日	時限	国試出題基準
04月19日	1時限	各論-Ⅱ-8-イ

担当者 齋藤 勝彦

テーマ： セファロ分析に基づく矯正治療の流れと使用する器材

授業の一般目標： 適切な矯正治療を行うためにセファロ分析に基づく矯正治療の流れを理解し、使用する器材について修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) セファロ撮影の方法について説明できる。
- 2) セファロ分析の基準点・基準平面について説明できる。
- 3) 精密検査で行う項目を列挙し、それぞれの目的を説明できる。
- 4) 矯正治療に器具・器材を列挙し、その使用目的について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月20日	1時限	必修-2-ア-d 必修-2-ウ-f

担当者 伊藤 政之

テーマ： 障害者をとりまく環境

授業の一般目標： 本年4月1日から施行された障害者差別解消法について、これまでの成立過程やその内容を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 障害者権利条約についてその概要を説明することができる。
- 2) 障害者差別解消法についてその概要を説明することができる。
- 3) 合理的配慮を説明することができる。
- 4) バリアフリー・コンフリクトを説明することができる。

講義日	時限	国試出題基準
04月21日	1時限	必修-4-イ-b 必修-4-イ-b 必修-4-イ-c 必修-4-イ-d 必修-4-イ-f 必修-4-ウ-a

担当者 小宮 正道、山口 秀紀

テーマ： 医療安全・管理①

授業の一般目標： 安全な歯科医療を行うために、医療安全および感染予防対策に関する基本を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) スタンダードプリコーションについて説明できる。
- 2) 衛生的手洗いについて説明できる。
- 3) PPE(個人防護用具)について説明できる。
- 4) インシデント・アクシデントについて説明できる。
- 5) ヒューマンエラーについて説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月23日	1時限	必修-2-ウ-a 必修-1-ア-a 必修-2-ウ-b 必修-2-ウ-c 必修-2-ウ-f

担当者 有川 量崇

テーマ： 歯科医師法，歯科衛生士法，歯科技工士法

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び，医療人として社会における役割と責任について理解し，修得できる。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯科医師の法的義務を列挙できる。
- 2) 保健・医療・福祉の連携を理解し，歯科医師の役割を説明できる。
- 3) 歯科医師法を概説できる。
- 4) 歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月25日	1時限	必修-4-イ-b 必修-4-イ-b 必修-4-イ-c 必修-4-イ-d 必修-4-イ-f 必修-4-ウ-a

担当者 笹井 啓史

テーマ： 医療安全・管理②

授業の一般目標： 安全な歯科医療を行うために、医療安全および感染予防対策に関する基本を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 1. 医療安全管理について説明できる。
- 2) 2. インシデント・アクシデントについて説明できる。
- 3) 3. 救急時の対応について説明できる。
- 4) 4. 誤飲・誤嚥発生時の対応について説明できる。
- 5) 5. 感染について説明できる。
- 6) 6. 感染対策について説明できる。
- 7) 7. 標準予防策と経路別予防策について説明できる。
- 8) 8. 手指衛生の方法について説明できる。
- 9) 9. PPE（個人防護用具）について説明できる。
- 10) 10. スポルディング分類について説明できる。

=====

講義日	時限
04月26日	1時限

担当者 多田 充裕

テーマ： 平常試験①

講義日	時限	国試出題基準
04月27日	1時限	総論-XI-16-A

担当者 加藤 仁夫

テーマ： インプラント治療の歴史、材料と生体反応

授業の一般目標： インプラント材料と形体の歴史の変遷を知ることにより、現在のインプラントシステムを理解する。

到達目標 SBOs :

- 1) インプラント治療の歴史を述べる事が出来る。
- 2) インプラントシステムを説明できる。
- 3) インプラント材料の生体反応について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月28日	1時限	各論-V-8-U

担当者 井下田 繁子

テーマ： インプラントの特徴、周囲組織、生理学的特徴

授業の一般目標： 将来、欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 SBOs :

- 1) 1) インプラント周囲組織と歯周組織の構造の違いを説明する。
- 2) 2) インプラントの生理学的特徴を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月30日	1時限	各論-V-8-ウ

担当者 井下田 繁子

テーマ： インプラント治療の特徴、基本構造、成功基準

授業の一般目標： 将来、欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1)インプラントの利点、欠点について説明できる
- 2)インプラント治療と従来の補綴治療と比較し説明できる
- 3)インプラントの基本構造、構成要素について説明できる
- 4)1回法と2回法の埋入術式の違いを説明できる
- 5)インプラント体とアバットメントの連結機構について説明できる
- 6)インプラント治療の成功基準について説明できる

講義日	時限	国試出題基準
05月02日	1時限	総論-I-3-オ 総論-I-3-カ 総論-I-3-キ 総論-I-3-ク

担当者 有川 量崇

テーマ： 医療と介護に関する職種の役割

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療と介護に関する職種の役割を理解し、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得できる。

到達目標SBOs：

- 1)医療職の役割
- 2)福祉介護職の役割

講義日	時限	国試出題基準
05月06日	1時限	各論-V-8-ウ

担当者 井下田 繁子

テーマ： 適応症と禁忌症、インプラント治療の流れと使用器具

授業の一般目標： 将来、欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) インプラント治療の適応症について説明できる
- 2) インプラント治療の禁忌症について説明できる
- 3) インプラント治療の初診からメンテナンスまでの一連の治療の流れについて説明できる
- 4) インプラント治療に使用する使用器具を説明できる

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月07日	1時限	各論-V-2-イ 各論-V-2-ア

担当者 井下田 繁子

テーマ： 全身的リスクファクターと全身の診察・検査

授業の一般目標： 将来、欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) インプラント治療に必要な全身的リスクファクターについて説明できる
- 2) インプラント治療に必要な全身の診察・検査について説明できる

講義日	時限	国試出題基準
05月09日	1時限	必修-3-ア-a 必修-3-ア-b 必修-3-ア-c 必修-3-ア-d 必修-3-ア-e 必修-3-イ-a 必修-3-イ-b 必修-3-エ-a

担当者 田口 千恵子

テーマ： 予防と健康管理増進（健康増進と疾病予防）

授業の一般目標： 健康の概念と健康増進，疾病予防，健康管理について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 健康の概念について説明できる。
- 2) プライマリーヘルスケアについて説明できる。
- 3) ヘルスプロモーションについて説明できる。
- 4) 第2次健康日本21について概説できる。
- 5) メタボリックシンドロームについて説明できる。
- 6) 地域保健について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月10日	1時限	各論-V-2-イ

担当者 村上 洋

テーマ： 局所的リスクファクターと局所の診察・検査

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) インプラント治療に必要な局所的検査を説明できる。
- 2) インプラント治療の局所的リスクファクターを説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月11日	1時限	各論-V-2-エ

担当者 村上 洋

テーマ： 診断と治療計画の立案・インフォームドコンセント

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を定説に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

1)インプラント治療における診断と治療計画の立案について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月12日	1時限	各論-V-8-オ

担当者 玉木 大之

テーマ： インプラントに必要な局所解剖

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

1)インプラント治療に必要な局所解剖を説明する。

講義日	時限	国試出題基準
05月13日	1時限	各論-V-8-オ

担当者 玉木 大之

テーマ： インプラント埋入手術

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

1) 外科術式を説明する。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月14日	1時限	各論-V-8-オ

担当者 玉木 大之

テーマ： インプラント関連手術

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

1) インプラント関連術式の種類とその特徴を説明する。

講義日	時限	国試出題基準
05月16日	1時限	必修-3-ウ-a 必修-3-ウ-b 必修-3-エ-a 各論-I-6-カ

担当者 田口 千恵子

テーマ： 予防と健康管理増進（母子保健と学校保健）

授業の一般目標： 健康の概念と健康増進，疾病予防，健康管理について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 母子保健について説明できる。
- 2) 学校保健について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月17日	1時限	各論-V-8-サ

担当者 玉木 大之

テーマ： 術中および術後の偶発症・合併症

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) インプラント関連手術の術中および術後の偶発症・合併症を説明する。

講義日	時限	国試出題基準
05月18日	1時限	各論-V-8-キ

担当者 村上 洋

テーマ： 上部構造の種類と印象採得

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1)インプラント治療の上部構造の種類を説明できる。
- 2)インプラント治療の印象採得法について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月19日	1時限	各論-V-8-ケ

担当者 村上 洋

テーマ： アバットメントの選択と上部構造の装着

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1)インプラント治療の補綴術式を説明できる。
- 2)インプラント治療のアバットメントと上部構造について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月20日	1時限	各論-V-8-シ

担当者 井下田 繁子

テーマ： メインテナンス

授業の一般目標： 将来、欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) インプラント支持療法について説明できる
- 2) インプラント維持療法について説明できる
- 3) インプラント支持療法や維持療法で使用する器具を説明できる

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月21日	1時限	各論-V-8-サ

担当者 村上 洋

テーマ： メインテナンス中のトラブル

授業の一般目標： 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) インプラント治療の上部構造装着後のトラブルについて説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月23日	1時限	各論-V-8-シ

担当者 加藤 仁夫

テーマ： 超高齢社会および医療紛争への対応

授業の一般目標： 超高齢社会におけるインプラント治療の優位性と問題点を論ずる事が出来る。
インプラント治療における医事紛争を知る事が出来る。

到達目標SBOs：

- 1) 高齢者に対するインプラント治療の優位性と問題点を説明できる。
- 2) インプラント治療の問題点を説明できる。
- 3) 医事紛争を未然に防ぐ方法を説明できる。

=====

講義日	時限
05月24日	1時限

担当者 村上 洋

テーマ： 平常試験②-1

講義日	時限	国試出題基準
05月25日	1時限	各論-I-5-ク

担当者 鈴木 浩司

テーマ： スポーツ歯学概論

授業の一般目標： 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、最新のスポーツ歯科医学や睡眠健康科学の知識、態度、技能を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) スポーツと顎口腔機能の関わりについて説明できる
- 2) スポーツにおけるマウスガードの役割を説明できる.
- 3) スポーツにおける歯科的外傷と対応を説明できる.

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月26日	1時限	各論-I-5-ク

担当者 鈴木 浩司

テーマ： スポーツマウスガードの作製方法

授業の一般目標： 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、スポーツ時の口腔外傷予防するためにスポーツマウスガード製作の知識、態度を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) スポーツマウスガードの目的を説明できる。
- 2) スポーツマウスガードの種類を説明できる。
- 3) スポーツマウスガードの製作法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月27日	1時限	各論-V-1-キ

担当者 飯田 崇

テーマ： ブラキシズム

授業の一般目標： ブラキシズムへの適切な歯科的対応を行うために、ブラキシズムの定義と病因について理解する。

到達目標 SBOs：

- 1) ブラキシズムの定義について説明できる。
- 2) ブラキシズムの病因について説明できる。
- 3) ブラキシズムの顎口腔領域への影響について説明できる。
- 4) ブラキシズムへの歯科的対応について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月28日	1時限	各論-V-1-ク

担当者 鈴木 浩司

テーマ： 睡眠時無呼吸症候群（1）

授業の一般目標： 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、睡眠健康科学の知識、態度を習得する。

到達目標 SBOs：

- 1) 睡眠の生理について説明できる
- 2) 基礎的な睡眠医学について説明できる
- 3) 睡眠時無呼吸症候群の特徴について説明できる。
- 4) 睡眠時無呼吸症候群の合併症について説明できる

講義日	時限	国試出題基準
05月30日	1時限	各論-V-1-ク 各論-V-9-オ

担当者 鈴木 浩司

テーマ： 睡眠時無呼吸症候群（2）

授業の一般目標： 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、睡眠健康科学の知識、態度を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 睡眠時無呼吸症候群に対する治療について説明できる
- 2) 睡眠時無呼吸症候群への歯科的対応を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月31日	1時限	各論-V-1-ク 各論-V-9-オ

担当者 鈴木 浩司、吉村 万由子

テーマ： 睡眠時無呼吸症候群の歯科的対応

授業の一般目標： 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、睡眠健康科学の知識、態度を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 睡眠時無呼吸症候群への歯科的対応を説明できる。
- 2) 睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置製作について説明できる
- 3) 睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置の装着について説明できる

講義日	時限	国試出題基準
06月01日	1時限	総論-X-9-ケ

担当者 鈴木 浩司

テーマ： スポーツ歯学アンチ・ドーピング

授業の一般目標： 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、最新のスポーツ歯科医学の知識、態度を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) アンチ・ドーピングを説明できる。
- 2) アンチ・ドーピングプログラムを説明できる。
- 3) ドーピング検査について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月02日	1時限	総論-XI-11-エ

担当者 浅野 隆

テーマ： デジタルデンティストリー

授業の一般目標： これからの新しい歯科医療の展開のために、デジタル方式の歯科医療を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) デジタルデンティストリーとは何かを説明できる。
- 2) デジタルデンティストリーの現状を説明できる。
- 3) デジタルデンティストリーの展開と限界を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月03日	1時限	総論-VI-3-エ

担当者 長濱 文雄

テーマ： 再生歯科医療の概論

授業の一般目標： 今後の歯科医療に不可欠となる再生医療を学ぶため必要な知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 1) 再生歯科医療について説明できる。
- 2) 2) 再生歯科医療の特殊性について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月04日	1時限	各論-III-6-オ

担当者 長濱 文雄

テーマ： 難治性根尖性歯周炎

授業の一般目標： 難治性根尖性歯周炎の原因、症状、診断について説明できるようになるため知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 難治性根尖性歯周炎の原因を説明できる。
- 2) 難治性根尖性歯周炎の症状を説明できる。

講義日 時限
06月06日 1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 平常試験⑨-B

=====

講義日 時限 国試出題基準
06月07日 1時限 各論-Ⅲ-6-エ

担当者 牧村 英樹

テーマ： 難治性根尖性歯周炎への対応

授業の一般目標： 難治性根尖性歯周炎の原因、症状、診断、治療方法について説明できるようになるため
知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 1) 難治性根尖性歯周炎の原因を説明できる。
- 2) 2) 難治性根尖性歯周炎の症状を説明できる。
- 3) 3) 難治性根尖性歯周炎の治療方法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月08日	1時限	総論-XI-1 6-エ

担当者 植松 千佳子

テーマ： 再生医療における『細胞・足場・成長因子』

授業の一般目標： 再生歯科医療を行う為に、再生医療における細胞・足場・成長因子について説明することができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 再生歯科医療を行う為に、再生医療における細胞・足場・成長因子の種類を説明することができる。
- 2) 再生歯科医療を行う為に、再生医療における細胞・足場・成長因子の役割を説明することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月09日	1時限	各論-I-1-キ 必修-3-キ-b 必修-3-キ-c 必修-3-キ-a

担当者 田口 千恵子

テーマ： 予防と健康管理（フッ化物応用）

授業の一般目標： 口腔疾患の予防におけるフッ化物応用について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) フッ化物による全身的応用法について説明できる。
- 2) フッ化物による局所応用法について説明できる。
- 3) フッ化物応用による安全性について説明できる。
- 4) フッ化物の代謝について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月10日	1時限	各論-I-6-ア 必修-3-ク-a 必修-3-ク-b 必修-3-ク-d 必修-3-ケ-a 各論-I-6-イ 各論-I-6-ウ 各論-I-6-エ
担当者	田口 千恵子	

テーマ： 予防と健康管理増進（保健指導・口腔清掃）

授業の一般目標： 口腔疾患の予防と管理における口腔清掃と保健指導について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 栄養と食生活について説明できる。
- 2) 禁煙指導について概説できる。
- 3) 生活習慣病について説明できる。
- 4) 機械的清掃法，化学的清掃法について説明できる。
- 5) 口腔清掃方法について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月11日	1時限	各論-Ⅲ-6-シ
担当者	牧村 英樹	

テーマ： 自家歯牙移植・意図的再植のサイエンス

授業の一般目標： 難治性根尖性歯周炎に対応するために、自家歯牙移植、意図的再植術の術式、治癒過程について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 自家歯牙移植について説明することができる。
- 2) 意図的再植術について説明することができる。

講義日	時限	国試出題基準
06月13日	1時限	必修-7-ウ-a

担当者 牧村 英樹、菊地 信之

テーマ： 歯科領域における再生医療の現状と展望

授業の一般目標： 歯科領域の再生医療の現状と展望について知ることができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯科領域の再生医療の現状について説明できる。
- 2) 歯牙凍結保存について説明できる。
- 3) 再生医療の話題を話せる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月14日	1時限	必修-7-ウ-a

担当者 菊地 信之

テーマ： 歯科領域における再生医療の現状と展望②

授業の一般目標： 歯科領域の再生医療の現状と展望について知ることができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 生体防御を利用した象牙質再生を理解できる。
- 2) 再生医療の話題を話せる。

講義日	時限	国試出題基準
06月15日	1時限	必修-7-ウ-a

担当者	和田 守康
-----	-------

テーマ： 歯科領域の再生医療のトピックス

授業の一般目標： 再生医療の話題が提供できる

到達目標SBOs：

- 1) 審美に考慮した医療ができる。
- 2) 再生医療の話題を話せる。

=====

講義日	時限
06月16日	1時限

担当者	村上 洋
-----	------

テーマ： 平常試験②-2

講義日	時限	国試出題基準
06月17日	1時限	各論-I-4-ア 必修-3-コ-a 必修-3-コ-b 各論-I-4-イ 各論-I-4-ウ

担当者 田口 千恵子

テーマ： 予防と健康管理増進（口臭）

授業の一般目標： 健康管理増進のために歯・口腔の清潔，特に口臭について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 口臭の分類を説明できる。
- 2) 口臭の原因を説明できる。
- 3) 口臭の測定方法について説明できる。
- 4) 口臭の予防について説明できる。
- 5) 器質的口腔ケアについて説明できる。
- 6) 機能的口腔ケアについて説明できる。
- 7) 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月18日	1時限	総論-IV-4-ア 総論-V-4-ウ

担当者 伊藤 龍朗

テーマ： 小児の歯・歯列の発育と特徴

授業の一般目標： 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の歯・歯列の発育と特徴について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 乳歯，永久歯の形態および特徴を説明できる。
- 2) 歯の形態異常を説明できる。
- 3) 歯の発育時期について説明できる。
- 4) Hellmanの歯齢を列記できる。
- 5) 乳歯列および混合歯列の特徴を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月20日	1時限	総論-V-1-エ 総論-V-1-オ 総論-V-1-カ 総論-V-1-キ

担当者 清水 邦彦

テーマ： 小児の心身発達

授業の一般目標： 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の心身発達について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 小児の身体発達について説明できる。
- 2) 小児の情動の発達について説明できる。
- 3) 小児の運動機能の発達について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月21日	1時限	各論-II-1-エ 各論-II-1-ウ

担当者 岡本 京

テーマ： 小児期の治療時に留意すべき疾患

授業の一般目標： 小児への対応を適切に行うために、小児期の治療時に留意すべき疾患について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 口腔症状を伴う全身疾患について説明できる。
- 2) 口腔疾患を伴う全身疾患についての治療上の注意について説明できる。
- 3) 遺伝性疾患とその顎頭蓋顔面症候について説明できる。
- 4) 感染症とその口腔症状について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月22日	1時限	各論-Ⅱ-6-ウ 各論-Ⅱ-6-イ

担当者 荒井 清司

テーマ： 咬合誘導

授業の一般目標： 乳歯および混合歯列期に生じた歯の欠損と歯列不正に対応するために、静的保隙と動的咬合誘導を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 保隙の必要性を説明できる。
- 2) 咬合誘導の概念を説明できる。
- 3) 歯列不正の原因を説明できる。
- 4) 保隙装置とその適応、管理について説明できる。
- 5) 保隙装置の作製方法および作製時の注意点について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月23日	1時限	必修-7-ア-e 総論-V-1-キ 総論-V-4-ア

担当者 五関 たけみ

テーマ： 成長発育と評価

授業の一般目標： 口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、頭蓋・顎顔面の成長パターンおよび成長発育の評価法を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 成長発育の評価について説明できる。
- 2) 骨年齢とその評価について説明できる。
- 3) 成長スパートの予測について説明できる。
- 4) 脳頭蓋の成長について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月24日	1時限	総論-V-4-イ 必修-1 4-イ-h 総論-VI-1 1-ア

担当者 石井 かおり、五関 たけみ

テーマ： 顎顔面頭蓋の成長発育

授業の一般目標： 口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、脳頭蓋と顎顔面の成長発育に影響を及ぼす因子について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 鼻上顎複合体の成長発育を述べることができる。
- 2) 下顎骨の成長発育の特徴を述べることができる。
- 3) 頭蓋・顎顔面形態の異常を特徴とする先天異常を列挙できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月25日	1時限	総論-VII-2-ウ 必修-9-イ-e 必修-1 4-イ-e 総論-VI-1 1-ア 各論-II-7-エ 各論-II-7-オ 各論-II-8-エ

担当者 清水 真美、五関 たけみ

テーマ： 不正咬合の特徴（上顎前突）

授業の一般目標： 上顎前突を主訴に来院した患者からの相談に適切に対応するために必要な基本的知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 上顎前突を特徴とする先天異常を列挙できる。
- 2) 上顎前突の発現要因を説明できる。
- 3) 上顎前突の形態的特徴を列挙できる。
- 4) 上顎前突の機能的特徴を列挙できる。
- 5) 上顎前突の早期治療について説明できる。
- 6) 上顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。

講義日 時限
06月27日 1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 平常試験⑨-C

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月28日	1時限	総論-VII-2-ウ 必修-9-イ-e 必修-14-イ-e 総論-VI-11-ア 各論-II-7-エ 各論-II-7-オ 各論-II-8-エ 各論-II-11-ア

担当者 根岸 慎一、五関 たけみ

テーマ： 不正咬合の特徴（下顎前突）

授業の一般目標： 下顎前突を主訴に来院した患者の相談に適切に対応するために必要な基本的知識について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 下顎前突を特徴とする先天異常を列挙できる。
- 2) 下顎前突の発現要因を説明できる。
- 3) 機能性反対咬合の特徴を述べることができる。
- 4) 骨格性下顎前突の特徴を述べることができる。
- 5) 反対咬合の早期治療について説明できる。
- 6) 反対咬合の治療に用いる装置とその使用目的を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月29日	1時限	必修-7-ア-b

担当者 地主 知世

テーマ： 摂食・嚥下機能の発達

授業の一般目標： 発達期の障害児に対し摂食・嚥下指導ができるようになるために、摂食・嚥下機能の発達を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 発達の原則について説明できる。
- 2) 摂食・嚥下機能の発達について説明できる。
- 3) 摂食・嚥下障害について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月30日	1時限	必修-15-カ-a

担当者 梅澤 幸司

テーマ： 障害者への対応

授業の一般目標： スペシャルニーズがある人に対する歯科臨床場面において、治療に対する不安や恐怖を取り除くための支援について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 行動調整について説明できる。
- 2) オリエンテーションについて説明できる。

講義日 時限
07月01日 1時限

担当者 梅澤 幸司

テーマ： 平常試験③

=====

講義日 時限 国試出題基準
07月02日 1時限 各論-V-6-サ

担当者 木本 統

テーマ： 総義歯装着後の管理

授業の一般目標： 総義歯装着後のトラブルを理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 義歯装着後の痛みを説明できる。
- 2) 装着後に生じる維持不良の原因を説明できる
- 3) 装着後に生じる発音障害の原因を説明できる。
- 4) 装着後に生じる審美不良の原因を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月04日	1時限	総論-X-1-ア 総論-X-1-イ 総論-X-1-ウ

担当者 河相 安彦

テーマ： 総義歯補綴学概論

授業の一般目標： 無歯顎患者の旧義歯における問題点の解決と新義歯の治療を円滑に進めるために必要な知識、技能および態度を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 無歯顎患者のプロブレムリストを作成できる
- 2) 患者の補綴学的、身体的、社会的な問題点を抽出できる
- 3) 旧義歯の問題点を補綴学的に解釈できる
- 4) 旧義歯の問題点に関する検査を列挙できる
- 5) 検査結果を観察記録として記載できる
- 6) 観察記録を総合して問題点の考察ができる
- 7) 問題点の考察に基づき原因の診断ができる
- 8) 診断に基づき、治療計画を立案できる
- 9) 治療計画に基づき対処を行う事ができる

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月05日	1時限	総論-VI-12-ア 各論-V-5-ア

担当者 飯島 守雄

テーマ： 局部床義歯学総論

授業の一般目標： 歯列の部分欠損の特性を理解し、可徹性義歯を活用した補綴治療の臨床的意義とその方法を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 可徹性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。
- 2) 歯列部分欠損による障害とその病体を説明できる。
- 3) 部分床義歯の種類と適応症を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月06日	1時限	各論-V-10-ウ 各論-V-10-エ 各論-V-10-オ 各論-V-10-カ

担当者 大久保 昌和

テーマ： 局部床義歯装着後の管理

授業の一般目標： 局部床義歯装着後に起こる様々な合併症を解決するために、それらの原因と対応について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 局部床義歯装着後に起こる合併症の種類について説明できる。
- 2) 局部床義歯装着後に起こる合併症の原因について説明できる。
- 3) 局部床義歯装着後に起こる合併症への対応について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月07日	1時限	総論-IV-3-ア 総論-IV-3-イ 総論-IV-3-ウ 総論-IV-3-オ

担当者 小見山 道

テーマ： 咀嚼の生理学と機能障害

授業の一般目標： 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために、補綴学の顎機能に関する知識・技能および態度を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ、説明できる。
- 2) 下顎運動の基準となる点、線、面を分類し、説明できる。
- 3) 下顎位の名称を挙げ、説明できる。下顎の限界運動について説明できる。
- 4) 下顎の限界運動について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月08日	1時限	総論-IX-1-コ 総論-IX-1-ケ

担当者 浅野 隆

テーマ： 下顎運動および口腔機能検査

授業の一般目標： 補綴治療の際に必要な下顎運動および口腔機能検査の準備と診療補助ができるようになるために、使用する器材と目的を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 咬合検査の方法と目的を理解する。
- 2) 下顎運動検査の方法と目的を説明できる。
- 3) 筋機能検査の方法と目的を説明できる。
- 4) 模型を用いた検査の方法と目的を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月09日	1時限	各論-VI-16-イ-a 各論-VI-16-イ-b 各論-VI-16-イ-c 各論-VI-16-イ-d 各論-VI-16-イ-e 各論-VI-16-ア-c 各論-VI-16-ア-d

担当者 三田村 佐智代

テーマ： 摂食嚥下障害とリハビリテーション

授業の一般目標： 摂食嚥下リハビリテーションを理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 摂食嚥下障害の検査について説明できる。
- 2) 摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月11日	1時限	必修-2-ウ-e 総論-I-2-ア

担当者 有川 量崇

テーマ： 保健・医療・福祉・介護関係法規

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 医療法を概説できる。
- 2) 保健・医療制度を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月12日	1時限	各論-VI-14-ア

担当者 飯田 崇

テーマ： 高齢者の歯科治療

授業の一般目標： 適切な高齢者の口腔管理を行うために、高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 高齢者の歯科治療について説明できる。
- 2) 高齢者の口腔管理について説明できる。
- 3) 高齢者における摂食・嚥下障害の原因について説明できる。
- 4) 高齢者の栄養管理について説明できる。

講義日 時限
07月13日 1時限

担当者 飯島 守雄

テーマ： 平常試験④

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月14日	1時限	総論-IV-4-ウ 総論-IV-4-ア 総論-IV-4-イ 総論-IV-4-エ 総論-IV-4-オ

担当者 岩井 啓寿

テーマ： 歯の正常機能と構造

授業の一般目標： 適切な修復処置が行えるように、歯の正常機能と構造について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) エナメル質の機能と構造について説明できる。
- 2) 象牙質の機能と構造について説明できる。
- 3) 象牙質複合体について説明できる。
- 4) セメント質の機能と構造について説明できる。
- 5) 歯式の表記法について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月15日	1時限	総論-VI-6-イ 総論-VI-6-ウ 各論-III-2-ア 各論-III-2-イ

担当者 岡田 珠美

テーマ： 唾液・常在微生物叢、バイオフィルム・齲蝕の病因

授業の一般目標： 齲蝕を理解するために唾液、口腔常在菌叢およびバイオフィルムについて理解する

到達目標 S B O s :

- 1) 口腔常在菌について説明できる。
- 2) バイオフィルムについて説明できる。
- 3) 齲蝕の病因について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月16日	1時限	各論-III-2-ア 総論-IX-1-ア

担当者 岩井 啓寿

テーマ： 齲蝕の病態と主要症候および検査

授業の一般目標： 齲蝕を理解するために、病因・病態、主要症候ならびにそれらの検査法について学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯の硬組織疾患の病因・病態を説明できる。
- 2) 歯の硬組織疾患の主要症候を説明できる。
- 3) 歯の硬組織疾患の検査法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月19日	1時限	各論-Ⅲ-3-イ 各論-Ⅲ-3-エ 各論-Ⅲ-3-オ

担当者 岡田 珠美

テーマ： 診療用器具と成形修復材料

授業の一般目標： 保存修復学の基本の一つである成形修復中の特にコンポジットレジンおよびグラスアイオノマーセメント修復に用いる器具・器材、材料の組成・特徴、手順および不快事項について学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 成形修復窩洞について説明できる。
- 2) 成形修復で使用する器具・器材について説明できる。
- 3) 成形修復の特徴について説明できる。
- 4) 成形修復の組成とその意義について説明できる。
- 5) コンポジットレジン修復の手順について説明できる。
- 6) グラスアイオノマーセメント修復の手順について説明できる。
- 7) 各種修復法の不快事項について説明できる。
- 8) コンポジットレジンとグラスアイオノマーセメント修復の違いについて説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月20日	1時限	各論-V-4-ウ 各論-V-4-ウ 各論-V-4-エ 各論-V-4-カ 各論-V-4-サ 各論-V-4-シ

担当者 小林 平

テーマ： 診療用器具と補綴修復材料

授業の一般目標： 適切な歯冠補綴治療を行うために、治療に用いられる診療用器具と補綴修復材料の特徴について学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 各種切削器具の特徴を説明できる。
- 2) 各種印象材の特徴について説明できる。
- 3) 歯科用鑄造金属の種類を説明できる。
- 4) 熱処理について説明できる。
- 5) 歯科用オールセラミックの種類について説明できる。
- 6) CAD/CAMについて説明できる。
- 7) ジルコニア応用歯冠補綴装置について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月21日	1時限	総論-XI-1 4-ア 総論-XI-1 3-ア 総論-XI-1 3-ウ 総論-XI-1 3-エ 総論-XI-1 4-ア 総論-XI-1 4-イ 総論-XI-1 4-ウ

担当者 會田 雅啓

テーマ： 歯科接着技術と接着材料

授業の一般目標： 支台歯と一体化することで審美性や機能を回復・維持することができる歯冠修復物接着に使用する材料と術式を学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯科用セメントの種類と性質を述べるができる
- 2) 歯科用セメントの使用方法を説明できる。
- 3) 歯科用レジンセメントと歯質または修復材料との接着理論と技法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月22日	1時限	各論-V-4-ス

担当者 小林 平

テーマ： 歯の審美障害 1

授業の一般目標： 歯冠補綴処置における形態や色調の不調和を改善するために、審美障害の原因とその治療方法を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯冠補綴装置のマージン不適合による審美障害を説明できる。
- 2) 歯冠補綴装置の前装材料の劣化による審美障害を説明できる。
- 3) メラニン色素の沈着による歯肉の変色の原因を理解し、対処法について説明できる。
- 4) 歯冠補綴処置における前処置の方法を説明できる
- 5) ブラックトライアングルの原因と対処方法について説明できる。
- 6) ラミネートベニアの適応症と術式を説明できる。
- 7) オールセラミックによる審美治療について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月23日	1時限	各論-Ⅲ-2-オ 各論-Ⅲ-2-エ 各論-Ⅲ-2-カ 各論-Ⅲ-3-イ 各論-Ⅲ-3-キ

担当者 神谷 直孝

テーマ： 歯の審美障害 2

授業の一般目標： 歯の審美障害を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、変色歯、形態不全歯、歯冠破折および歯間離開の診断と処置方針について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯の審美障害を引き起こす疾患について説明できる。
- 2) 歯の変色の原因、診断、処置方針について説明できる。
- 3) 形態不全歯の診断と処置方針について説明できる。
- 4) 歯冠破折の処置方針について説明できる。
- 5) 歯間離開の処置方針について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月25日	1時限	各論-Ⅲ-2-ウ 各論-Ⅲ-3-イ 各論-Ⅲ-3-ク

担当者 神谷 直孝

テーマ： 歯の損耗の病因・病態と対処法

授業の一般目標： 歯の損耗（Tooth Wear）によるさまざまな症状を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、Tooth Wearの臨床症状と診断および処置方針について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) Tooth Wearの病因、病態および診断を説明できる。
- 2) Tooth Wearの処置方針を説明できる。
- 3) 食片圧入の症状、原因、処置方針について説明できる。
- 4) 象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。
- 5) 象牙質知覚過敏のメカニズムについて説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
08月22日	1時限	各論-V-1 0-カ 各論-V-4-ウ 各論-V-4-エ 各論-V-4-セ 各論-V-4-ソ

担当者 田中 孝明

テーマ： 歯冠補綴装置の脱離 1

授業の一般目標： クラウンあるいは支台装置の脱離と破折の防止，その対応処置と修理方法を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 支台築造の原則を説明することができる。
- 2) 支台築造の目的を列挙できる。
- 3) 帯環効果を説明できる。
- 4) 脱離の原因を説明できる。
- 5) 前装部の脱離と破折の原因を説明できる。
- 6) 前装部の修理方法を述べることができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月23日	1時限	各論-V-1 0-カ 各論-V-2-イ 各論-V-2-ウ 各論-V-4-イ

担当者 後藤 治彦

テーマ： 歯冠補綴装置の脱離 2

授業の一般目標： クラウン・支台装置脱離の原因について理解し、歯の保存に必要な診査診断および対処法を学ぶ。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯根破折の原因を説明できる。
- 2) 歯根破折の対処法を説明できる。
- 3) クラウンブリッジの要件を説明できる。
- 4) ブリッジの設計について説明できる。

講義日 時限
08月24日 1時限

担当者 岩井 啓寿

テーマ： 平常試験⑤

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月25日	1時限	総論-I-2-ウ 総論-I-6-ア 総論-I-6-イ 総論-I-3-ウ 総論-I-3-エ 総論-I-3-カ

担当者 有川 量崇

テーマ： 社会保障制度

授業の一般目標： 歯科医師として必要な社会保障制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標SBOs：

- 1) 保健・医療制度を説明できる。
- 2) 介護保険制度を説明できる。
- 3) 社会福祉制度を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
08月26日	1時限	総論-I-6-イ

担当者 有川 量崇

テーマ： 医療保険制度

授業の一般目標： 歯科医師として必要な医療保険・介護保険制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 保健・医療制度を説明できる。
- 2) 医療保険制度を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月29日	1時限	総論-VI-5-ア 総論-VI-5-イ 総論-VI-5-ウ 総論-VI-5-エ 総論-VI-5-カ 総論-VI-11-イ 総論-VI-11-オ

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 炎症の病理組織学

授業の一般目標： 歯髄、歯周組織及び顎骨の炎症性疾患を正しく診断・治療するために、炎症の病理組織学的知識や組織特異性について学修する。

到達目標 S B O s :

- 1) 炎症の病因について解説できる。
- 2) 炎症の成り立ちと徴候について病理組織学的に説明できる。
- 3) 炎症の病理組織学的分類について解説できる。
- 4) 歯髄組織及び根尖性歯周組織の炎症性変化について説明できる。
- 5) 辺縁歯周組織の炎症性変化について解説できる。
- 6) 顎骨の炎症性変化について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
08月30日	1時限	各論-Ⅲ-5-イ 各論-Ⅲ-5-ウ

担当者 辻本 恭久

テーマ： 根尖性歯周炎の分類・診断

授業の一般目標： 誘発痛や自発痛を主訴とする患者に対し、歯髄炎・根尖性歯周炎の診断および処置方針の決定ができるようになるために、臨床症状をもとに歯髄炎・根尖性歯周炎の特徴を理解する。

到達目標SBOs：

- 1)1) 歯髄炎・根尖性歯周炎の原因を説明できる。
- 2)2) 歯髄炎・根尖性歯周炎の進行の特徴を説明できる。
- 3)3) 可逆性歯髄炎，不可逆性歯髄炎の特徴を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月31日	1時限	各論-Ⅲ-6-エ 各論-Ⅲ-6-ウ

担当者 辻本 恭久

テーマ： 根尖性歯周炎の治療の基礎

授業の一般目標： 歯髄・根尖性歯周疾患を適切に治療できるようになるために、症状，診断，治療法ならびにその治癒機転・予後について学習する。

到達目標SBOs：

- 1)1) 急性歯髄炎・慢性歯髄炎における治療法を説明できる。
- 2)2) 急性根尖性歯周炎，慢性根尖性歯周炎の治療法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
09月01日	1時限	各論-Ⅲ-8-ウ

担当者 高井 英樹

テーマ： 歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎

授業の一般目標： 歯周疾患を正確に診断・治療するために、歯周組織の構造、歯周疾患の診査法および治療法について学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 正常歯周組織を理解する。
- 2) 歯周病の原因と進行機序を理解する。
- 3) 歯周病の診査法を理解する。
- 4) 歯周基本治療の内容を理解する。

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月02日	1時限	各論-Ⅲ-9-エ

担当者 高井 英樹

テーマ： 歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎

授業の一般目標： 歯周病の治療法を理解するために、歯周外科手術および治療後の治癒機転・予後について学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯周外科治療について理解する。
- 2) メインテナンスとSPTについて理解する。

講義日	時限	国試出題基準
09月03日	1時限	各論-IV-3-イ

担当者 青木 暁宣

テーマ： 炎症①

授業の一般目標： 炎症の患者に対応できるようになるために、隙の分類・炎症の波及経路について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 隙の分類を説明できる。
- 2) 隙を理解し、説明することができる。
- 3) 炎症の波及経路を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
09月05日	1時限	

担当者 大峰 浩隆

テーマ： 顔面・口腔の裂奇形

授業の一般目標： 顔面・口腔の裂奇形を説明できるようになるために、必要な知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために、裂奇形を理解する。
- 2) 裂奇形について説明できる。
- 3) 唇裂の分類について説明できる。
- 4) 唇裂による障害について説明できる。
- 5) 口蓋裂の分類について説明できる。
- 6) 口蓋裂による障害について説明できる。
- 7) 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。

講義日	時限	国試出題基準
09月06日	1時限	各論-IV-9-オ 各論-IV-9-カ

担当者 青木 暁宣

テーマ： 顎骨の炎症（主に骨髓炎・上顎洞炎）

授業の一般目標： 骨髓炎・上顎洞炎の患者に対応できるようになるために、顎骨に生じる骨髓炎・上顎洞炎の分類、診断、病期、症状、治療の基礎について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 骨髓炎・上顎洞炎の分類を説明できる。
- 2) 骨髓炎・上顎洞炎を診断できる。
- 3) 骨髓炎・上顎洞炎の病期を説明できる。
- 4) 骨髓炎・上顎洞炎の症状を説明できる。
- 5) 骨髓炎・上顎洞炎の治療法を説明できる。

=====

講義日	時限
09月07日	1時限

担当者 高井 英樹

テーマ： 平常試験⑥

講義日	時限	国試出題基準
09月08日	1時限	総論-VI-1 1-カ

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 嚢胞の分類

授業の一般目標： 口腔・顎・顔面領域に発生する嚢胞を正しく診断・治療するために、分類及び病理学的特徴について学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 嚢胞を分類し、解説できる。
- 2) 嚢胞の病理組織学的特徴について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月09日	1時限	各論-IV-10-ウ 各論-IV-10-ア 各論-IV-10-イ 各論-IV-10-エ 各論-IV-10-カ 各論-IV-10-キ 各論-IV-10-ク 各論-IV-10-コ

担当者 濱野 美緒

テーマ： 顎骨の歯源性嚢胞と非歯源性嚢胞

授業の一般目標： 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞を説明のできるようになるために、学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 顎骨嚢胞の種類を列記できる。
- 2) 顎骨嚢胞の診断ができる。
- 3) 顎骨嚢胞の治療法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
09月10日	1時限	各論-IV-7-ア 各論-IV-7-オ-a

担当者 伊藤 耕

テーマ： 顎変形症の診断と治療

授業の一般目標： 顎変形症の分類、診断、治療の基礎について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 顎変形症の分類を説明できる。
- 2) 顎変形症の診断し、説明することができる。
- 3) 顎変形症の治療法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月12日	1時限	各論-IV-13-ア 各論-IV-13-サ

担当者 牧山 康秀

テーマ： 顔面の神経疾患

授業の一般目標： 片側顔面痙攣、三叉神経痛の診断と治療を学修する

到達目標 S B O s :

- 1) 片側顔面痙攣を説明できる
- 2) 三叉神経痛を説明できる

講義日	時限	国試出題基準
09月13日	1時限	総論-VI-1 1-キ

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 腫瘍の分類

授業の一般目標： 口腔・顎・顔面領域に発生する腫瘍を正しく診断・治療するために、分類及び病理組織学的特徴について学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 腫瘍を分類し、解説できる。
- 2) 腫瘍の病理組織学的特徴について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
09月14日	1時限	各論-IV-1 1-ア 各論-IV-1 1-ウ 各論-IV-1 1-オ 各論-IV-1 1-カ 各論-IV-1 1-キ 各論-IV-1 1-ク 各論-IV-1 1-ケ 各論-IV-1 1-コ-a

担当者 濱野 美緒

テーマ： 良性腫瘍の診断と治療

授業の一般目標： 顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 腫瘍の分類ができる。
- 2) 腫瘍について説明できる。
- 3) 腫瘍の診断ができる。
- 4) 腫瘍の治療法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準				
09月15日	1時限	各論-IV-5-エ 各論-IV-5-ク	各論-IV-5-ウ 各論-IV-5-ケ	各論-IV-5-オ 各論-IV-5-コ	各論-IV-5-カ	各論-IV-5-キ

担当者 伊藤 耕

テーマ： 悪性腫瘍の診断と治療①

授業の一般目標： 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 悪性腫瘍の分類ができる。
- 2) 悪性腫瘍について説明できる。
- 3) 悪性腫瘍の診断ができる。
- 4) 悪性腫瘍の治療法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準				
09月16日	1時限	各論-IV-5-エ 各論-IV-5-ク	各論-IV-5-ウ 各論-IV-5-ケ	各論-IV-5-オ 各論-IV-5-コ	各論-IV-5-カ	各論-IV-5-キ

担当者 伊藤 耕

テーマ： 悪性腫瘍の診断と治療②

授業の一般目標： 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 悪性腫瘍の分類が説明できる。
- 2) 悪性腫瘍について説明できる。
- 3) 悪性腫瘍の診断ができる。
- 4) 悪性腫瘍の治療法を説明できる。

講義日 時限
09月20日 1時限

担当者 濱野 美緒

テーマ： 平常試験⑦

講義日 時限
09月28日 1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 平常試験⑧